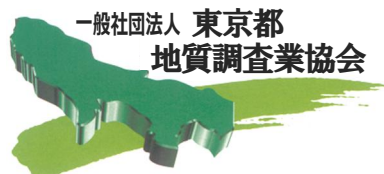


東 地 協 ニ ュ ー ス 2025.7 第 47 号



業界の現状と協会の使命について

(一社) 東京都地質調査業協会
専務理事・事務局長 岡部 康典

地質調査業は、国家経済や社会動向と不可分な関係にあることから、その将来像を見据えるにあたっては、それらマクロ環境や業界のミクロ環境を考慮しグランドデザインを描く必要があります。

過去を振り返ると、1995 年を境として生産年齢が減少し併せてその年を起点に 10 年間で地質調査の発注量は 40% まで減少しました。その後、2005 年の品確法成立や 2019 年の品確法改正により地質調査業も法律の対象となった事で建設関連業を取り巻く環境が改善され、直近の 10 数年は業界全体の受注量も上方トレンドへ転換しています。

また、令和 7 年度国交省予算では、一般公共事業予算の配分にあたって「能登半島地震を踏まえた防災・減災対策」「インフラ老朽化の対策による持続可能なインフラメンテナンスの実現」「地域における総合的な防災・減災対策」を柱とし、令和 6 年度補正予算と合わせて切れ目なく進めるとの方針であり、国土強靱化中期計画と相まって久々に活況を呈しています。

しかしながらその一方で、少子高齢化による人材不足や働き方改革を推進するうえでの「残業時間の規制」「働き方改革に係るコスト負担」等により企業利益の減少が顕在化しています。このように、近年、経営を取り巻く環境は益々厳しさを増しており、その社会的変化への適応が急務となっています。

その様な状況下で、協会としての使命・役割を改めて考察しました。産業における経営資源の根幹は、人材（人財）と技術に集約されます。人材難や事業活動の内的変革を考慮すれば、量から質への転換による生産性の向上が必須となる事は自明の理です。

そこで、東京都地質調査業協会としての、会員の生産性向上に寄与するインセンティブ獲得という面での活動を勘案すると、東京都との意見交換会がクローズアップされます。

過年度の意見交換を通して、総合評価方式における「災害協定の加点」が制度化されました。しかしながら、財務局における「入札参加条件の緩和」「総合評価方式の価格点の見直し」、建設局における「解析業務の積算計上」「設計変更の適正履行」等々、未だ喫緊の課題は山積しています。その様な状況の中で、東京都建設局や住宅政策本部の「地質調査研修会」や、昨年度からスタートした建設局出先事務所に対する「地質調査勉強会」の主導的な開催は大変好評をいただいております。

つきましては、東京都の期待に応えるよう令和 7 年度以降も講習会・研修会等を開催し東地協に対する信頼をより向上・醸成させる中で、東京都に対する発言力高め、会員の皆様の思いを意見交換会に反映させていきたいと考えております。

いずれにしても、会員の皆様にとって有益性の高い要望を具現化する中で「喜んで頂ける協会」としての事業展開を推進してまいります。

● 会議報告等

○ 第41回定時総会

5月13日(火)、エッサム神田ホール1号館7階中会議室において、第41回定時総会が開催された。会員数29社に対し、25社が出席(うち委任状提出15社)し、全議案が承認された。

< 議案 >

- (1) 令和6年度事業報告承認の件
- (2) 令和6年度決算報告及び監査報告承認の件
令和6年度監査報告

< 報告事項 >

- (1) 令和7年度事業計画の報告
- (2) 令和7年度予算の報告

< 総会風景 >



< 懇親会風景 >

エッサム神田ホール1号館 イベントホール2にて、6年ぶりに開催された。



○ 理 事 会

1. 令和6年度 第8回

日時：令和7年2月12日(水)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和6年度決算、令和7年度事業計画・予算、定時総会について
- (3) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会について
- (4) 東京都建設局 北多摩南部建設事務所「地質調査勉強会」について
- (5) 賛助会員の退会について
- (6) 令和6年度 東京都財政局意見交換会について
- (7) 2024年度「学生向け地質調査業説明会」について
- (8) 総務・広報委員会
 - 1) 第8回委員会報告(1月31日)
- (9) 技術委員会
 - 1) 第9回委員会報告(12月17日)

2. 令和7年度 第1回

日時：令和7年5月13日(火)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第41回定時総会の議事進行について
- (3) 令和6年度 東京都建設局職員向け勉強会
- (4) 関東協会への支部補助金の申請について
- (5) 東京都設計等委託成績評定要綱の改正について
- (6) 設計業務委託等技術者単価について
- (7) 令和7年度東京都予算等に対する要望(回答)について
- (8) 総務・広報委員会
 - 1) 第1回委員会報告(4月22日)
- (9) 技術委員会
 - 1) 第1回委員会報告(4月16日)

3. 次回理事会開催予定

日時：令和7年7月1日(火)



☆ トピックス (協会行事紹介)



◎ 講師派遣

1) 東京都建設局 北多摩南部建設事務所へ講師派遣

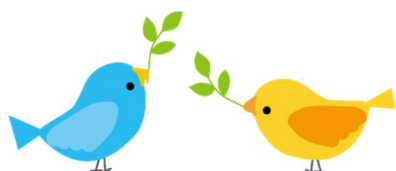
研修名：「地質調査勉強会」

日 時：令和7年2月20日(木) 15:00～16:30

会 場：北多摩南部建設事務所 会議室

内 容	講 師
1. 東京都における 地形地質概要と地質リスク	技術委員 近藤 龍児
2. 地質調査計画の立て方	技術委員 富山 恵介
3. アンケート質疑に対する回答	技術委員 徳留 亮

<勉強会風景>



◎ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会 (春期)

※ 協力：東邦地下工機(株)

後 援：(一社) 全国さく井協会

(一社) 日本アンカー協会

(一社) 全国特定法面保護協会

(一社) 日本グラウト協会

(一社) 関東地質調査業協会

日 時：令和7年4月4日(金)、5日(土)

場 所：<学科> 測量地質健保会館(東京都豊島区)

<実技> 東邦地下工機(株)(東京都品川区)

講 師：東邦地下工機(株) 企画開発本部

片山 浩明氏(協会外部理事)

内 容：

<学科> ① ボーリングマシンに関する知識

「基礎知識・構造」「運転及び点検・整備」

② ボーリングマシンの運転に必要な

一般事項に関する知識「施工・力学と電気」

③ 関連法令「関係法令・災害事例」

<実技> 運転及び安全のため合図、運転実技

参加者：43名

<学科講習>



<実技講習>



◎『船で巡る東京港と地盤環境・防災講習会』開催のご案内

このたび技術委員会 社会貢献部会では、地盤調査ならびに環境調査に携わる若手技術者の皆様を対象に、研修の一環として基礎的技術力の向上に寄与するべく講習会を企画いたしました。

本講習会では、身近にある東京臨海部に焦点を当て、東京港沿岸部の海上からの見学、また東京臨海部の変遷、地形・地質といった身近なものから、液状化・沈下・高潮のメカニズムなど防災をテーマとした内容を中心に講習を行います。

はじめに東京都港湾局のクルーズ船を利用して、東京湾岸に立地する代表的な施設を見学します。次いで、当協会技術委員による講義を聴講いただきます。湾岸施設の見学や講義を通じて、東京湾岸地域の役割を学び総合的な知見を構築していただければ幸甚に存じます。

御多用とは存じますが、是非この機会に本研修会をお役立て頂きたいと存じます。

日 時：令和7年9月4日(木) 9:50～16:00

場 所：青海船着場より船出(江東区青海2-8-11)

概 要： 1) 東京港視察船「東京みなと丸」
(東京都港湾局主催 クルーズ船にて)
2) 講習会「東京湾岸エリアの地盤環境と防災」
(青海フロンティアビルにて)

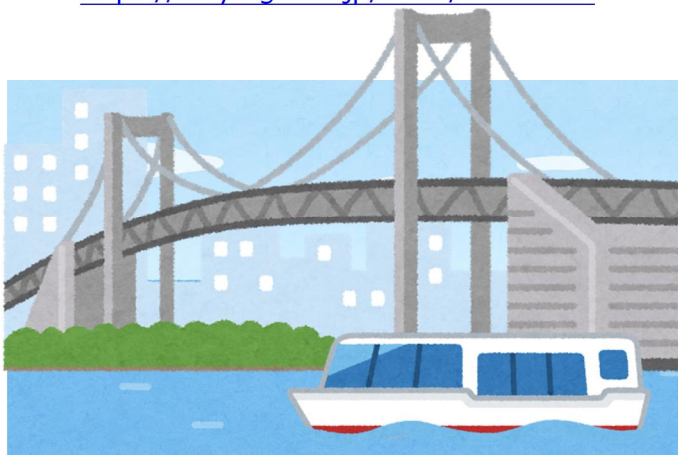
受講料：会員 2,000 円 非会員・個人 3,000 円

定 員：20 名(定員に達し次第、締切)

申込期限：令和7年8月20日(水)まで

申込方法、詳細については、協会ホームページ「最新情報」をご確認ください。

URL：<https://tokyo-geo.or.jp/news/index.html>



◆ 新任委員紹介



日本物理探査株式会社
関東支店
営業部 大島 雄太

令和7年6月より、総務・広報委員として参加させていただくこととなりました。

私は、平成20年4月に技術職として日本物理探査株式会社へ入社いたしました。入社直後には、石川県における護岸空洞調査に従事し、約3か月間、コンクリートの無機質な風景と潮風を感じながら、地中レーダ探査器を引いていたことを昨日のこのように思い出します。その後は、埋設物調査を中心に、杭の下端深度確認、埋設管の位置測定、コンクリート殻の有無調査、さらには環境調査など、さまざまな業務に携わってまいりました。令和6年度からは営業職へと異動となり、新たな部署で見積書や契約書類と日々格闘しながら、業務に励んでおります。

私生活では、大学時代に海の近くで生活していたこともあり、ウィンドサーフィンに熱中し、一年を通じて日焼けした肌で学生生活を過ごしました。マリンスポーツが趣味で、沖縄でスキューバダイビングも体験いたしました。子供が生まれるまでは、毎年夏になると沖縄でリフレッシュしておりました。

地質調査については、まだまだ学ぶべきことが多く、協会の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、微力ながら本委員会の一員として、地質調査業界の発展に少しでも貢献できるよう努力してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 会員(正会員・賛助会員)動向



(1) 会員の退会

[賛助会員]

・(有)エム・システム

※令和6年12月末日退会

(2) 代表者変更

・協和地下開発(株) 東京支社

[新] 代表取締役 馬場 栄治 氏

[旧] 代表取締役 高橋 高志 氏

・興亜開発(株)

[新] 代表取締役 橘 久生 氏

[旧] 代表取締役 桑山 正勝 氏

・(株)ダイエーコンサルタンツ

[新] 代表取締役 原島 崇純 氏

[旧] 代表取締役 原島 滋 氏

・中央開発(株) 東京支社

[新] 東京支社長 西村 修一 氏

[旧] 東京支社長 橋本 和佳 氏

(3) 代表者・住所変更

・応用地質(株) 東京営業所

[新] 東京営業所長 橋本 普一 氏

[旧] 東京営業所長 伊藤 裕公 氏

[新住所]

〒112-0002 文京区小石川1-1-17

(TEL)03-3811-5772

(FAX)03-5802-5901



住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、
お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。
(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

▲ 行事日程

日程	行 事 名
7月9日(水)	(関東) 経営講演会 (MPC 共催)
7月12日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月18日(金)	(関東) 災害復旧事業技術講習会
8月予定	(関東・東京) そなエリア東京 防災イベント
8月31日(日)	(関東・東京) 東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練
9月4日(木)	(東京) 船で巡る東京港と地盤環境・防災講習会
9月11日(木) 9月12日(金)	(全地連) 技術フォーラム 2025・山形
9月30日(月)	(東京) 第7回 災害対策セミナー-in 東京
10月頃	(東京) ボーリングマシン安全衛生 特別教育講習会 (秋期) [予定]
11月14日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
11月28日(金)	(関東) 地質調査技士 登録更新講習会



お店紹介

Gocchi Batta (ゴッチバッタ)

「リーズナブルに本格シュラスコ体験を」を表題に営業しているお店でもあり、3時間 9000円で飲み食べ放題のコースは再訪確定です。

会社でのちょっとしたイベントや家族での食事など、にぎやかな雰囲気を楽しめます。

土曜日にはサンバショーが開催されています。

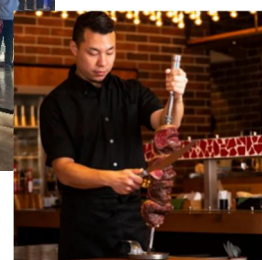
肉が食べたい! となったら是非オススメです。

住所: 東京都中央区銀座 8-2-1 ニッパビル 7F

電話: 03-3572-2900



(写真は銀座店)



(A.M)

・編集後記・

[地震への備え]

先日、感震ブレーカーを購入しました。電気機器からの火災対策用品で、地震を感知すると自動的に電気を遮断する装置です。

非常用品の備えや避難場所の確認は行っていましたが、改めて自助意識の重要性を痛感しました。

これからの季節、地震以外にゲリラ豪雨や土砂災害などの自然災害のリスクが高まってまいります。

当協会員として、都民への啓蒙活動と防災意識の向上に尽力してまいりたいと思います。

(H.S)



東地協ニュース 2025.7 第47号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

(HP) <https://www.tokyo-geo.or.jp/> (E-Mail)